

経営比較分析表

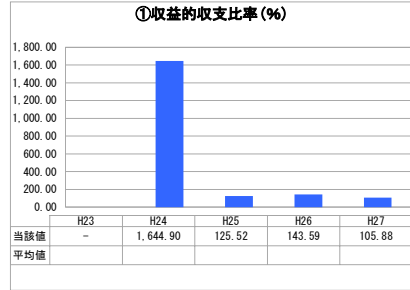
埼玉県 滑川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	22.75	100.00	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,999	29.68	606.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,111	25.83	159.16

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
□	平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



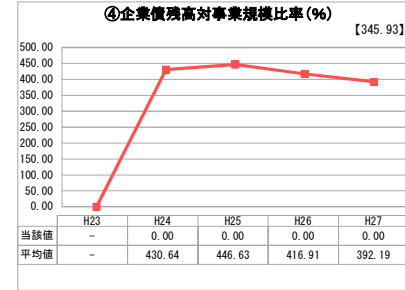
「単年度の収支」



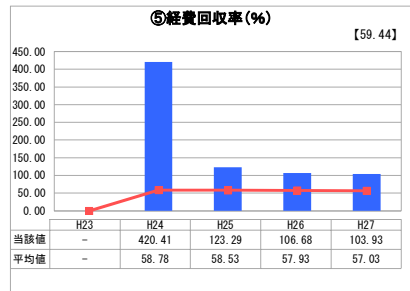
「累積欠損」



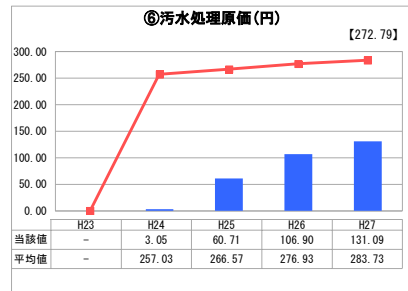
「支払能力」



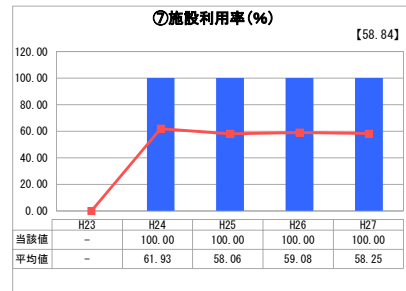
「債務残高」



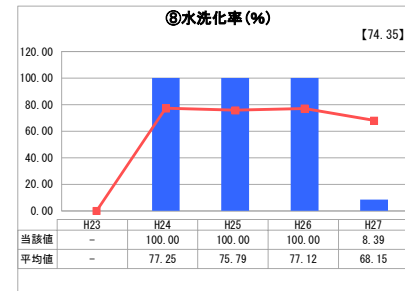
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

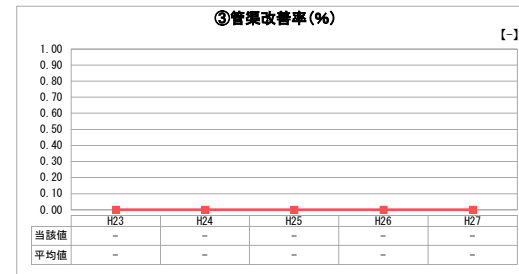
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支については、100%を超えており、料金収入と一般会計繰入金等による総収益により、地方債償還等も充当が可能となっている。経費回収率も使用料で回収すべき経費で賄えている。

水洗化率は、既存区域の整備が進み、事業区域拡大により低下したものであるが、今後とも普及拡大を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

事業開始から間もないため、老朽化はあまり見られていないが、今後の維持管理に向けて創意工夫による手法が必要となる。

全体総括

順調に整備が進んでおり、後は浄化槽設置の普及率の向上を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。